【健康管理学】

氏名　藤　井　昌　史	職名　教　授	大学院における研究指導担当資格の有無(㊒・無)

Ⅰ 教育活動

教育実践上の主な業績	年月日	概　　要
1 教育内容・方法の工夫(授業評価等を含む) 体力測定と評価、運動処方せんの作成と指導方法の習得	2010年1月27日 ～2010年2月17日	生活習慣病の予防、改善対策のなかで、医師自らが臨床現場で個別的、具体的に運動指導できることが求められる。医大４年生に対し、本実習で体力測定とその評価、運動処方せんの作成、運動指導のロールプレイといった基本事項を習得させる。
2 作成した教科書、教材、参考書		
3 教育方法・教育実践に関する発表、講演等		
4 その他教育活動上特記すべき事項		

Ⅱ 研究活動

著書・論文等の名称	発行または発表の年月(西暦)	発行所、発表雑誌（及び巻・号数）等の名称	編者・著者名(共著の場合のみ記入)	該当頁数
論文				
PDCAサイクルにもとづく特定保健指導プログラムづくりの取り組み	2009年10月	保健師ジャーナル 65(10)	石川奈美、小島真二、伊地知久美子、脇本敏裕、菊川麻由美、松村千恵、小川彩子、井上雅子、関明彦、藤井昌史	862-868頁
Changes in metabolic syndrome and its components with lifestyle modification in Japanese men	2010年2月	Internal Medicine 49	Miyatake N, Fujii M, Miyachi M, Tabata I, Takeshi S, Hirao T, Numata T	261-265頁
学会発表・その他				
食習慣の改善が見られた問診項目の解析 ～行動ステージ別の検討～	2009年9月	人間ドック学会	◎菊川麻由美、小島真二、脇本敏裕、松村千恵、伊地知久美子、小川彩子、井上雅子、関明彦、河原和枝、藤井昌史	
血中βクロスラプス(SCTX) 基準値設定の試み	2009年10月	第11回日本骨粗鬆症学会	◎曽根照喜、福永仁夫、藤井昌史、鎌田智有	222頁

Ⅲ 学会等および社会における主な活動

年　　月	内　　容
2002年4月～現在に至る	日本体力医学会会員
2004年8月～現在に至る	日本人間ドック学会会員
2004年8月～現在に至る	日本総合健診医学会会員
2009年4月～現在に至る	日本総合健診医学会審議員

氏名　小　島　真　二	職名　講　師	大学院における研究指導担当資格の有無(㊒・無)

Ⅰ 教育活動

教育実践上の主な業績	年月日	概　　要
1 教育内容・方法の工夫(授業評価等を含む) グループディスカッションやロールプレイを用いた体験型の実習	2009年4月 ～現在に至る	大学医学部での教育においては、習得すべき知識が多いことから、実習においても、知識を得ることを主体とせざるを得ない。 そこで、われわれは、「覚えること」から、「考えること」を目標に掲げ、より効果的な学習形態を提供する実習を行っている。 具体的には、われわれが担当する生活習慣病患者に対する保健指導（運動指導）の実習において、

		運動処方実習を行っており、学習効果を高めるために、「グループディスカッション」、「ロールプレイ」「自ら体験」などの手法を組み込んでいる。
2 作成した教科書、教材、参考書		
3 教育方法・教育実践に関する発表、講演等		
4 その他教育活動上特記すべき事項		

Ⅱ 研究活動

著書・論文等の名称	発行または発表の年月（西暦）	発行所、発表雑誌（及び巻・号数）等の名称	編者・著者名（共著の場合のみ記入）	該当頁数
論文				
当院における人間ドック受診者に提供する食事の工夫～保健指導の資料として活動しうるメニュー提供の試み～	2009年6月	人間ドック 24(1)	菊川麻由美、小島真二、脇本敏裕、伊地知久美子、石川奈美、関明彦、河原和枝、藤井昌史	84-89頁
PDCAサイクルにもとづく特定保健指導プログラムづくりの取り組み	2009年10月	保健師ジャーナル 65(10)	石川奈美、小島真二、伊地知久美子、脇本敏裕、菊川麻由美、松村千恵、小川彩子、井上雅子、関明彦、藤井昌史	862-868頁
学会発表・その他				
食習慣の改善が見られた問診項目の解析～行動ステージ別の検討～	2009年9月	人間ドック学会	◎菊川麻由美、小島真二、脇本敏裕、松村千恵、伊地知久美子、小川彩子、井上雅子、関明彦、河原和枝、藤井昌史	

Ⅲ 学会等および社会における主な活動

年　月	内　容
2002年4月～現在に至る	日本内科学会会員
2002年4月～現在に至る	日本消化器内視鏡学会会員
2002年4月～現在に至る	日本臨床スポーツ医学会会員
2003年5月～現在に至る	日本公衆衛生学会会員
2003年5月～現在に至る	日本産業衛生学会会員
2003年5月～現在に至る	日本衛生学会会員
2003年10月～現在に至る	日本体力医学会会員
2006年6月～現在に至る	日本予防医学会会員
2006年12月～現在に至る	日本人間ドック学会会員
2006年12月～現在に至る	日本総合健診学会会員

氏名　関　明　穂	職名　講　師	大学院における研究指導担当資格の有無（㊒・無）

Ⅰ 教育活動

教育実践上の主な業績	年月日	概　要
1 教育内容・方法の工夫(授業評価等を含む)		
2 作成した教科書、教材、参考書		
3 教育方法・教育実践に関する発表、講演等		
4 その他教育活動上特記すべき事項		

Ⅱ 研究活動

著書・論文等の名称	発行または発表の年月（西暦）	発行所、発表雑誌（及び巻・号数）等の名称	編者・著者名（共著の場合のみ記入）	該当頁数
論文				
PDCAサイクルにもとづく特定保健指導プログラムづくりの取り組み	2009年10月	保健師ジャーナル 65(10)	石川奈美、小島真二、伊地知久美子、脇本敏裕、菊川麻由美、松村千恵、小川彩子、井上雅子、関明彦、藤井昌	862-868頁

			史	
学会発表・その他				
食習慣の改善が見られた問診項目の解析 ～行動ステージ別の検討～	2009年9月	人間ドック学会	◎菊川麻由美、小島真二、脇本敏裕、松村千恵、伊地知久美子、小川彩子、井上雅子、関明彦、河原和枝、藤井昌史	

Ⅲ 学会等および社会における主な活動	
年　　月	内　　容